

【開始級判定テストの使い方】

*コピーしてご利用ください。

成長する思考力（G T）シリーズ国語は、基本的には10級から開始します。この開始級判定テストは、小学5年生以上で、ある程度の学力がある場合にのみ使用して下さい。

したがって、このテストは7級～5級の判定テストになっています。小学低学年および小学4年生の場合は、10級から行ってください。

各判定テストの時間は20分。制限時間をお守りください。7級から順にテストを行ってください。

7級判定テスト	満点(50点)のみ6級判定テストを行います。	
	40点以上	7級から開始します。
	10点以上40点未満	8級から開始します。
	10点未満	10級から開始します。

6級判定テスト	満点(50点)のみ5級判定テストを行います。	
	40点以上	6級から開始します。
	40点未満	7級から開始します。

5級判定テスト	40点以上5級から開始します。	
	40点未満6級から開始します。	

成長する
思考力
GT
国語
7級
開始級
判定テスト

学年
名前

次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

おじいさんは考えたすえ、ある時ケメトスをそばによんで、今までかくしていたことを話してきかせました。

「ケメトスや、わしの言うことをよく聞くがよい。……お前が生まれる時に、わしは庭に出ていた。空一面に星がかがやいている晩だった。お前が無事に生まれるようにと心でいのりながら、ぼんやり空を見上げていた。『すると、ひとときわ強く光っている星がわしの目にとまった。しばらくすると、その星がすーっと流れて、またたくまに消え失せてしまった。ちょうどその時に、家の中から、お前の産声が聞こえてきたのだ。』

わしには、そのことがいつまでもわすれられない。星が流れるのは、ことにひとときわかがやいている星が流れるのは、悪い知らせなのだ。お前が生まれる時に星が流れたのは、お前の運命がよくないという知らせだ。

だが、運命というものは、ある点まで自分の手でこしらえ直すことが出来る。わしのように老人になると、^①そのことがはつきりわかるのだ。自分の運命を自分の手でよくしてゆくことが、人間の一番大切な仕事なのだ。

よいか、ケメトスや、お前はあまりよくない運命をもっているようだから、それをよくしようと努めなければいけない。さもないと、お前の終わりはきつと悪い。わかったか、ケ

メトスや。」

ケメトスは何とも答えないで、ただうなずいてみせました。おじいさんのようすがいっになくきわめて真剣なのに、すっかりけおされてしまっていました。

A ケメトスには、おじいさんの言ったことがよくわかりませんでした。ただ、自分の生まれた時に星が流れたということだけが、はつきり頭にはいりました。そして^②そのことを考えると、何だかうれいような力強いような気がしました。

（豊島与志雄「彗星の話」より）

問一 文中の会話文は、だれがだれに話しているのですか。

問二 文中の『するとく聞こえてきたのだ。』をまとめていいかえている部分を文中からぬき出して十五字以内で答えなさい。

問三 ——線①、②の「その」とは何を指していますか。文中の言葉をぬき出して答えなさい。

問四 A にあてはまるつなぎ言葉をア～ウから選んで記号で答えなさい。

ア そして イ けれども ウなぜなら

問五 おじいさんは、人間の一番大切な仕事はどんなことだと言っていますか。文中からぬき出して二十字以内で答えなさい。

成長する
思考力
GT
国語
7級

名前

点

得 点
点

問五 15点	問四 5点	問三 5点×2		問二 10点	問一 10点
		②	①		だれが だれに

成長する
思考力

GT
国語
6級

開始級
判定テスト

学年
名前

次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

ひとくちに慈悲じひぶかい人といえ、だれにでもものをやる人、だれのいうことをも直すぐ聞き入れてやる人、何事も他人のためにことわれない人、こうきめてしまうのが普通ふつうでしょう。それはそうにちがいないでしょう、

それが①慈悲ぶかい人の他人に対する原則げんそくですから。

しかし、②原則というのは結局原則であります。ものがすべて、原則どおり単純たんじゆんに行つてすむのなら世の中は案外やさしいものです。お医者でも原則通りですべて病人が都合よく処理しゆり出来るなら、どのお医者でもみな病理学研究室に閉じこもつておれば世話はありません。なにも、面倒な③臨床学りんしやうなど習つて実地研究の何年間など費やす必要は無いわけです。ところが、その必要がある。ありません、そこが臨機応変りんきおうへん、仏教のいわゆる、「時じ（時とき）、処しよ（場所）、位い（立場）」に適てきする方法において原則を実地に応用しなければなりません。

本当の慈悲とは、ここに本当にものをあたえるに適当な事情じじようを持つ人がある。その時、その人に適当な程ほどのものをあたえる。④それが本当の慈悲であります。ここに⑤一人のなまけ者があつて、それが口を上手にしてすがつて来たとする。その口上手に乗ぜられ、ものをやったとする。それは慈悲に似て非なる

ものであります。おだてに乗つた、うかつもののおろかな所行しよぎやうです。そんな時、ものをやる代わりに、そのなまけ者のお上手者の頬ほおに平手の一つも見まつてやる。いましめになり発憤はつぶんざい剤になるかもしれません。その方が本当の慈悲です。（岡本かの子「慈悲」より）

問一 ― 線①「慈悲ぶかい人の他人に対する原則」とは何を指していますか。文中の言葉を使って、箇条書きで三つ答えなさい。

問二 ― 線②「原則というのは結局原則であります」とは作者のどんな気持ちを表していますか。アウから選んで記号で答えなさい。

ア 現実には原則通りになっているものだ。
イ 現実を原則に適するようにしたい。
ウ 現実には原則通りにいかないものだ。

問三 ― 線③「臨床学」とはどんな学問ですか。文中の中から漢字四字をぬき出して答えなさい。

問四 ― 線④「それ」は何を指していますか。文中の言葉を使って四十字以内で答えなさい。

問五 ― 線⑤「一人のなまけ者があつて、それが口を上手にしてすがつて来たとする」の場合、筆者はどうすることが本当の慈悲だといっていますか。文中の言葉を使って四十字以内でまとめなさい。

成長する
思考力
GT
国語
6級

名前

点

得 点
点

問五 10 点			問四 15 点			問二 5 点		問一 5 点×3				
								③	②	①		

成長する
思考力
GT
国語
5級
開始級
判定テスト

学年
名前

次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

どこかへ旅行がしてみたくなる。しかし別にどこというきまったあてがない。そういう時に旅行案内記の類^{たぐい}をあけて見ると、あるいは海浜^{かいひん}、あるいは山間の湖水、あるいは温泉といったように、行くべき所がさまざま有りすぎるほどある。

A まずかりに温泉なら温泉ときめて、温泉の部を少し詳しく見て行くと、各温泉の水質や効能、周囲の形勝名所旧跡^{きゅうせき}などのだいたいがざっとわかる。

B もう少し詳しく具体的な事が知りたくなって、今度は温泉専門の案内書を捜し出して読んでみる。

C まずぼんやりとおおよその見当がついて来るが、いくら詳細^{しやうさい}な案内記を丁寧^{ていねい}に読んでみたところで、結局ほんとうのところは自分で行って見なければわかるはずはない。もしもそれがわかるようならば、うちで書物だけ読んでいればわざわざ出かける必要はないと言ってもいい。

D 念のためにいろいろの人の話を聞いてみても、人によってかなり言う事がちがっていて、だれのオーソリティを信じていいかわからなくなってしまう。それでさんざんに調べた最後には、つまりいいかげんに、賽^{さい}でも投げると同じような偶然^{ぐうぜん}な機縁^{きえん}によって目的の地をどうにかきめるほかはない。

① ① こういうやり方は言わばアカデミックなオーソドックスなやり方であると言われる。これは多くの人々にとって最も安全な方法で

あって、こうすればめったに大きな失望やとんでもない違算^{いさん}を生ずる心配が少ない。そうして主要な名所旧跡をうっかり見落とす気づかいもない。

しかし前の安全な方法にも短所はある。読んだ案内書や聞いた人の話が、いつまでも頭の中に巣くっていて、^②それが自分の目をかくし耳をおおう。それがためにせっかくわざわざ出かけて来た自分自身は言わば^③行李^{こうり}の中^おにでも押しこめられたような形になり、結局案内記や話した人が湯にはいたり見物したり享楽^{きやうらく}したりすると同じような事になる、こういうふうになりたがる恐れがある。もちろんこれは案内書や教えた人の罪ではない。

(寺田寅彦「案内者」より 一部改編)

問一 A B にあてはまるつなぎ言葉をア～オから選んで、記号で答えなさい。

ア そうすると イ そこで ウ 次には
エ しかし オ ところで

問二 —— 線① 「こういうやり方」とありますがどんなやりかたですか。四十字以内でまとめなさい。

問三 —— 線② 「それ」は何を指していますか。

問四 —— 線③ 「行李の中」にでも押しこめられたような形になり」とはどんな形になることをいっていますか。四十字以内で簡単にまとめなさい。

成長する
思考力
GT
国語
5級

学年

名前

得点

点

問一
5点×4

A

B

C

D

問二
10点

問三
5点

問四
15点

成長する
思考力
GT
国語
開始級
判定テスト
解答

注意

「文中の言葉を使って・・・」「・・・まとめな
さい」という問いの解答は、採点者の判断で
途中点をあげてください。

7級解答

問一 (配点 10点)

だれが **おじいさん** だれに **ケメトス**

問二 (配点 10点)

お前が生まれる時に星が流れた

問三 (配点 5点×2)

- ① 運命というものは、ある点まで自分
の手でこしらえ直すことが出来る
- ② 自分の生まれた時に星が流れた

問四 (配点 5点)

イ

問五 (配点 15点)

自分の運命を自分の手でよくしてゆく

こと

6級解答

問一 (配点 5点×3)

- ① だれにでもものをやること
- ② だれのいうことをも直ぐ聞き入れて
やること

- ③ 何事も他人のためにことわれないこと

問二 (配点 5点)

ウ

問三 (配点 5点)

実地研究

問四 (配点 15点)

本当にものをあたえるに適当な事情を
持つ人に適当な程のものをあたえること

問五 (配点 10点)

ものをやる代わりに、そのなまけ者の
お上手者の頬に平手の一つも見まっけてや
ること

5級解答

問一 (配点 5点×4)

A イ B エ C ア D ウ

問二 (配点 10点) 解答例

旅行案内記の類や人の話を聞いたりして、
温泉や形勝名所旧跡などを調べる(やり方)

問三 (配点 5点)

読んだ案内書や聞いた人の話

問四 (配点 15点) 解答例

旅行案内記に書かれていることや話した
人がしたことと同じこととしかしくなるこ
と